



NO.884

2012.9.16

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三三・四四五八
F 四三三・四四五七

第3回定例会

9月議会が開催される

11日に第三回定例会議会が開催され、

認定第1号平成23年度網走市各会計歳入歳出決算について、認定第2号平成23年度網走市水道事業会計決算について、議案第1号から第5号までの平成24年度一般会計補正予算と市有財産整備・能取漁港整備・介護保険の各特別会計予算及び網走市水道事業会計の補正予算について、議案第6号財産の取得、議案第7号企業立地促進条例の一部の改正について、議案第8号網走港港湾区域の変更につい



て、市長から提案がありました。

さらに報告第1号く4号からなる今回の集中豪雨対策の一般会計と公共下水道特別会計の補正予算の専決処分の報告がありました。その後、認定第1号、認定第2号については決算特別委員会を設置して審議することになり、日本共産党からは松浦敏司議員が選出されました。

本会議終了後に開かれた決算特別委員会で委員長に渡部真美氏、副委員長に山田俊美氏が選出されました。一般質問は19日、20日、21日の3日間です。

飯田敏勝議員は、集中豪雨対策について、自転車歩道通行について、学校図書館関係についての3項目。

松浦敏司議員は、学校における子どもへの「いじめ」問題について、生活保護行政について、市営住宅についての3項目です。飯田議員は通告1番目

なので19日10時から、松浦議員は通告7番目なので、20日の午前中の予定です。多くの市民の方の傍聴をお願い致します。なお、9月議会は決算審査があるため会期は10月1日までとなっております。

松浦奮戦も

アメリカ海兵隊の垂直離着陸機MV22オスプレイの配備に反対する沖縄県民大会が9日、宜野湾海浜公園で開かれました。

10万1000人の参加という過去最大規模の県民大会となりました。採択された大会決議は、オスプレイが開発段階から事故を繰り返している「構造的欠陥機」であり「安全性が確認できないオスプレイ配備は到底容認できない」と指摘しています。

「返還」合意から16年たっても宜野湾市のご真ん中に居座る普天間基地の「閉鎖・撤去」を求めています。宜野湾市長も普天間基地「固定化」の流れに強い懸念を表明するとともに「安全性に担保のないオスプレイを世界一危険な普天間基地に持ち込もうとしていることに強い憤りを感じざるを得ない」と訴えました。

沖縄の基地問題の根源には日米安全保障条約があり、ここにすがっている限り問題の解決はないと思います。

いじめ 敏勝 東奔西走

8月26日のこの欄に、ロンドン書き、日本選手団主将の土田和歌子選手のマラソンでの金メダルへ期待をしましたが、不運

というか、コースのカーブでの転倒が響いて追走むなしく5位に終わりました。勝利の女神はほほ笑みませんでした。最後まで勝負をあきらめず必死で追走している姿は胸を打つものがありました。網走で8月の半ばに直前合宿した全盲のランナー和田伸也選手は視覚障害1の5000メートルで自己記録を15秒短縮する15分55秒で3位になり堂々銅メダルを獲得した。

1000メートル(1キロ) 3分11秒で走る立派なものです。そして伴走した中山崇志コーチも立派です。見えない選手を見ていくかのように走ってリードしていくことは体力・気力・協力が充実していなければ成し得ないことです。

私も、10年ほど前に駅伝で桜井さんという全盲のランナーの伴走をしました。一朝一夕でいかにないものがありました。それでも手と手に結ばれた紐には離れがたい絆が感じられました。

流氷

七月、山口県知事、岩国市長を含む地元の高い反発にも拘らず、米海兵隊MV22(オスプレイ)が岩国基地に陸揚げが強行

され、十月には予定通り沖縄の米軍普天間基地で本格運用を始め、日本全土での低空飛行訓練を強行し酔うとしている。▼政府は「オスプレイの技術的な問題はクリアされている」との安全宣言をしているが、肝心のアメリカ本国ではオスプレイの開発が始まって以来、三十年間に亘ってその安全性、欠陥について論争が続いている▼同機の文責担当官L・リポロ、国防省評価局長F・コイル氏によると、一、オートローテーション能力の欠如、二、左右に回転翼があるため振動の影響が大きい、三、飛行に伴う渦巻き気流で、他の航空機と接近飛行すると制御不能になりやすい、等等▼このように本質的に構造的欠陥を内蔵し、多くの事故が続出している。マラナで起きた墜落事故も夜間着陸の際、先行機が急減速したため、それとの衝突を避けようと急降下し、自分の回転翼で生ずる吹き降ろし気流に機体が入り込み揚力を失ったためであり、モロッコの墜落事故も「操縦ミス」が原因とされた▼しかし、操縦上の制約が多く操縦ミスや制御状態の変化が頻繁に起きる特殊な機体構造欠陥こそが問われ続けてきたのだ。このように危険なオスプレイが人口密度が高く、山間気流の変化が激しいところで低空飛行することが計画されている。日本国民の安全を無視して安全保障は無い。この暴挙は、一刻も早くやめさせるほか無い(K)